

第2回競技委員会

令和5年12月1日(金)13:20～ 鳥取市民交流センター2階 多目的室3

出席者 諸江、安藤、根岸、恒松、松本、瀬田川、大槻、豊田、戸口、和田、渡部、笹田、下野、野本(佐賀)、仁部(佐賀)、渡辺(島根)

○諸江部長あいさつ

○令和5年度第48回全国選抜大会(笹田)

- ・会期 令和6年3月20日(水)～23日(金) 1日1種目開催
- ・技術委員会3月19日(火)15時～ 島原シーサイドホテル(用具検査は試合当日)
- ・タイムテーブルは原案の通り、決勝男女の記載なし(早く始められる方から実施)
- ・申込締切1月26日(金) 近畿選抜2月3日・4日、出場校決定次第速やかに書類提出を。
- ・島原市優勝旗寄贈希望。男女2種目合計4本。デザイン案検討。「寄贈島原市」の上に専門部名を。「優勝」の書体をフルーレに合わせる。女子のものは赤地だと高体連の赤マークが映えないので工夫をする。
- ・将来的に優勝旗、優勝トロフィー、優勝盾で3種目揃えたい。工業高校の生徒に作ってもらうのはどうか。エペ・サーブルの優勝トロフィーは約20万円(特注なのでケースの値段が半分以上) →予算・時間・人の手間との相談
- ・宿泊は幹旋で。全種目島原市内。市外も第2希望用に押さえている。
- ・組み合わせ抽選会2月15日(金)・16日(土)、会場未定。
- ・申し合わせ事項 選手変更は「病気等」、診断書を添えて実行委員会宛で
- ・インターハイではエペの合格証はビブと本体の割り印にしたが、きちんと押されていない選手がいた。(漆間) →それぞれに検査マークを押す。
- ・インターハイの要項にはマスクとビブは「同一メーカー」とあるが、FIEでは規定なし →削除
- ・メタルジャケットの補修パッチは用具検査は通るが、剥がれてきた場合の使用の可否はピスト上で審判が判断。
- ・練習会場 サブアリーナでの初日の練習はフルーレに限定したい(当日と翌日の種目)。=サーブルは初日は遠慮して欲しい。監督が試合中の場合は監督不在で練習となる。→サーブルの初日のサブアリーナでの練習は午後から
- ・練習場→練習会場に(表記変更)
- ・監督会議は隣接の「がまだすドーム」研修室で(椅子のみ、机なし)
- ・参加申込書の監督の印は省略(校長印があれば良いので)。
- ・開会式レイアウト 移動式階段着席で去年は各校2名限定。決勝ピストは奥から2つめのピストに入れてあるが、10・11、2・3の間にも出来る。開会式の席の邪魔にならない

場所に。審判器はどの方向からでも見られるように3つ設置。

→奥の方が観客は見やすい。審判側からの方が見やすいはず。長崎テレビには確認。

・申込書の見本に「選手・監督・引率の姓と名の間スペースを」を追加。(和田)

・弁当・宿泊締切は1週遅らせて2月9日に(近畿が間に合わない)

○令和6年度全国高校総体(佐賀県 仁部・野本)

実施要項前回からの変更点

5頁 参加申込「部活指導員の書類 計2部」

6頁 申込先のメールアドレス決定。参加申込6月19日(水)必着に

プログラム編成会議 佐賀プラザ研修室

申し合わせ事項 (1) オ・キ変更(コロナ関係は他競技に合わせる) (2) 規約規定集に則って変更。(キ) サーブルグローブは「FIE 800Nのものを使用」を追記したい。←規約規定集に載っているのもので不要。「申し合わせ事項」は規約規定集に書いていないことを載せる。

(ア)の表記のままだとFIE 800Nのユニフォームが使えないことになる。

→規約規定集の修正が必要。

ア～キは記載不要、松本先生と連絡を取り合って検討。

用具検査は高松大会を流用、一部室蘭大会になかったものを追加

11頁 「ビブは同一メーカーで」削除

12頁 剣身はポワント本体と… →規約規定集も全てポアンからポワンへ

10頁 用具検査に関する事項アの前に「規約規定集を参照すること」を入れ12～19頁削除。

会場図 1～3案 全て12ピスト

コンクリート床に厚さ5cmの板目マットを設置。審判の間隔は3mは欲しい。

案2は9と10ピストはピストを置いたら後ろは5cmの段差+2.7m。エンドラインから2mはある。横を広げるよりは間を広げた方が良い。真ん中を6m、壁側を4mに。案2で

22頁 会場図 用具検査の場所以外視察からの変更はない。

本部の後ろ2階席は空けるように(現在近畿の席のあたり)

25頁 本部のマイクはなるべく本部の真ん中に置いて欲しい。

26頁 諸会議も常任委員会、技術委員会もこの場所で行いたい。

試合番号1～48等の表記を1回戦・2回戦等と表記した方が良いのでは。

→規約規定集も変更が必要だが、その方向で(松本先生と協議)

佐賀は12ピストは用意出来るが、表記は10のまま。予備は不具合があった場合に使用。

練習会場は審判器が使える練習会場を設ける必要あり。実行委員会に要請。

荷物は観客席に置ける。会場は3階閉鎖、2階と4階を開放。エレベータ・階段の使用可。

エレベータは使用不可にも出来る。

24日以降の練習会場終了時間を「試合終了まで」に変更。

競技役員 佐賀県の教員は基本フェンシング関係者以外。

技術委員、ピスト指導員は室蘭大会を参考にして人数設定。

技術委員は地元1 + 全国5が基本。→中村泰典さんに入ってもらおう。

補助役員は競技経験のない人が入る。

メンバー交換用紙は室蘭のものを流用

合格ゴム印は青、シャチハタ式のもの。5~6個作成

38頁 式典 2選手団紹介 県名と学校名を紹介したい。暗転・スポットライト等を使用、短時間。10 応援メッセージ 現在4名の選手からビデオメッセージもらっている。2分程度。大型モニターで上映。

選手はフロアにそのまま座る。次の県は立たせて準備をしておく。20分はかかるがテキパキと。

応援メッセージは閉式通告後の方が良いのでは？ →10 閉式通告、11 応援メッセージへ

別冊

検証作業

2月8日にデータをアップして実際にダウンロードが出来るか、マクロが動くかの検証。

県内外3者の検証 専門部は豊田先生

4頁 記録報道は印刷物関係は結果印刷のものを持って行く人があまりいなかった。SNSで確認をしていたので。250部も要らないのでは？→50部に。

部旗は4階の座席を潰して設置。観客席はほぼ2階席で足りる。

選手紹介は準決勝以上、スポットライトを当てる。

時間短縮のためにリールを付けた状態で。決勝のみ暗転させて選手紹介。

決勝の裏で他の試合（準決勝）を実施しているのが実情。なるべく叶えてあげたいが、その分審判の確保が必要。

7頁 2階席通路に荷物棚設置。関東は人数が多いので棚2つの予定。

本部宿舎が「はがくれイン」から「アパホテル佐賀駅南口」に変更。審判同宿。

輸送は専門部はバスは不要。審判は中型バスで十分（タクシーチケットの方が安いかも）。

会場駐車場 少林寺拳法が25日~27日で重なるので一般の分が少なくなる。

役員・バス B4に。選手監督 B2。少林寺拳法はA1で足りると言われているが、足りなくなったらB2にも入る。一般観客 B1・B3。一日100円。

審判会議の日の審判の昼食は不要。

技術委員、ピスト指導員の名前がわかるのは抽選会の時。

インハイTVの場所は不明。

宿泊に関するウェブ開示日はJTB提示のもので。

資料 2 頁 5 競技規則 (公社) 日本フェンシング協会 → 国際フェンシング連盟 へ
(協会にはそのようなものがない)

審判が集まらない可能性あり。大学生は試験期間、五輪直前で確保が難しい。(諸江)

○令和 6 年度 第 49 回全国選抜大会 (笹田)

会期 令和 7 年 3 月 21 (金) ~ 23 日 (日)

→ 3 月 20 日技術委員会。全国委員会も実施予定。

島原大会で気づいたことがあれば、是非連絡を。

○令和 7 年度全国高校総体 (島根県 渡辺)

昨日会場視察

日程 (未公表、以下の日程で検討中) 8 月 5 日開会式、6 日~9 日(金)

開会式 安来市総合文化ホールアルセティア

会場 安来市民体育館 (平成 7 年インターハイ会場)

宿泊は松江市、輸送に問題があるかも。本部宿舎は米子でお願いしている。

ピスト数は 10 ピスト展開が出来れば良い。予備があると良い。ピストはアルミが良い。

○令和 7 年度以降全国選抜について (安藤)

・ 10 月常任委員会後、島原以外に立候補なし。全国委員会は書面決済で全国委員会は行わない。令和 7 年~12 年度(6 年追加継続)島原開催で話を進める。

・ 令和 13 年度以降は令和 10 年度に検討。

○規約規定集

21 頁 全国高体連競技規則に FIE の項目を参照させる。ユニフォーム規定の変更も反映。

(8)の定義追加 (ウェアが小さくで T シャツが見えている子もいるので)。

インジュリータイムは詳しく載せてある。

抗議についての定義を追加 23 頁の方が最新、25p[6](1)が丸々変わる。試合中に…

個人戦では同じ箇所のインジュリータイムは同一種目 1 回だが、個人と団体は別扱い。

34 頁 ポアン→ポワンに

35 頁 種目によって変えている。

図解は奈良の村田先生と相談をして修正。

改正日 来年のものは佐賀インターハイ全国委員会の日。その大会から適用。

グローブの補修、フルーレ・エペは縫うのは大丈夫。

サーブルは縫製による補修は認めないとあるが、削除して良いのか? → 再度確認

40 頁 剣の「脱落安全装置」=黒いプラスチックの部品 →ボディコードに脱落防止装置

があれば問題ないはず。ボディコードの方には記載があるので、それでいいのでは。エペクシジョンの規定はないのか？フルーレは厚さ 2cm 以下とある。エペも 2cm 以内。全てで「高体連の競技規則」を「国際フェンシング連盟の競技規則」に変更。FIE の規定に則るということは、日本協会が適用前でも適用していることになる。常任委員会で承認後、全国委員会は書面決議で改訂。

○その他

諸江 プリンター複合機を高性能のものにして欲しい（佐賀、島根に伝達）

選抜優勝旗の寄贈に関連して

持ち回り準優勝盾をエペ・サーブルにも導入することで今後検討。専門部で負担か。

フェンシングタイム導入について（和田）

6人・5人ではやはり差異が出る。鹿児島総体でも話題に出たが、「差異が出る」で回答。室蘭総体で検証、上位は変わらないが、その下では結果が変わった部分がある。6人に入った段階で上位に行けることがある程度見込める。

配信は間違いなく楽。割り算の方が公平性があるということで導入。現状はインターハイだけ。5人プールで一人途中棄権が出て4人になった場合はかなりの差異が出る。

高体連の見解は以前は公平性で出している。それを変える必要はあるのか。

競技委員会でまともでない限りは常任委員会には出せない。現状では意見はまともでないがそのまま。ただし団体戦では使える。 継続審議

ノンコンバティビリティの変更。日本協会が導入、次の選抜大会から適用。監督会議で周知する。（笹田）

インターハイのトレーナーの件（下野）

佐賀は医師・看護師を用意。トレーナーの予算は出していない。技術委員の分が1名分浮いたので、そこから出せば良いのでは。まずは医者が診て判断、医者の指示でトレーナーが診る。インジュリータイムの5分の中での治療。

ペナント整備（和田）

昭和・平成のものは外して写真にしてウェブに載せる方向で。

16時45分議事終了